

「脊髄損傷リハビリテーションマニュアル 第3版」発刊のお知らせ

神奈川リハビリテーション病院スタッフの脊髄損傷リハビリテーションの経験値を結集した「脊髄損傷リハビリテーションマニュアル 第3版」が発刊されました。脊髄損傷リハビリテーションの定番テキストとして長年好評をいただいている書籍の約20年ぶりとなる改訂版です。

今版では、現況に合わせて合併症治療の進歩に加え、近年増加している高齢不全頸髄損傷者についても取り上げ、動作練習やADL支援、住宅改修の項目でも不全四肢麻痺について扱っています。脊髄損傷リハビリテーションをこれから勉強する学生さんはもちろんのこと、実際に現場で対応されているリハビリテーション関連職種の皆様にぜひ読んでいただきたい1冊です。

「脊髄損傷リハビリテーションマニュアル 第3版」

編 集 神奈川リハビリテーション病院 脊髄損傷リハビリテーションマニュアル編集委員会
出版社 医学書院
単行本 332ページ
発売日 2019年6月3日
定 価 5,200円（税抜）

内 容 脊髄損傷リハビリテーションのスタンダードテキスト、約20年ぶりの全面改訂版。不变の基本事項をおさえたうえで、医療の変化や脊髄損傷リハビリテーション領域の現況に合わせた内容へと進化。20年のブランクをうぬ、次の20年へつながる内容となっている。受傷直後の内科的管理（合併症の治療）を問題別に整理。具体的な治療技術や手順は、豊富なイラストと写真で紹介。近年増加している高齢不全頸髄損傷者への取り組みについても言及。臨床現場で役立つ実践書でもある。その他、頸髄損傷者の育児や旅行、就労、さらには3Dプリンタを使った自助具の紹介など多彩なコラムも収載。将来の脊髄損傷医療の指針として、再生医療とロボティクスについても取り上げている。

- 目 次
- 1章 脊髄損傷の疫学
 - 2章 評価と予後予測
 - 3章 急性期のマネジメント
 - 4章 合併症
 - 5章 動作練習
 - 6章 ADL支援,上肢機能
 - 7章 脊髄損傷の看護
 - 8章 脊髄損傷者の体育・スポーツ
 - 9章 車椅子・クッション/ベッド・マットレス/福祉機器
 - 10章 家庭復帰
 - 11章 社会資源制度および活用
 - 12章 就労支援
 - 13章 小児の脊髄損傷・復学支援
 - 14章 慢性期の健康増進
 - 15章 脊髄損傷の再生医療とロボティクス

